

令和6（2024）年5月25日（土）

令和6（2024）年度・第1回 鳥取大学工学部電気情報系学科同窓会「湖鳥会」理事会・議事録

文責 東野 正幸

日時：令和6（2024）年5月25（土）14：00～16：00

場所：鳥取大学広報センター2階スペースF（鳥取市湖山町南4-101）及びオンライン

参加者：7名

（主会場）岡垣光則，吉田幹也，笹岡直人，笹間俊彦，東野正幸。

（オンライン）山根大作（会長，議長），大賀昌二（副会長）。

欠席者（議決権行使）：7名（※議決権を行使した者のうち1名は，第4号議案について賛否未表明。）

松本昭夫，立花慶治，竹内克徳，原 雅人，三木公保，小林盛一郎，山方秀則

欠席者：7名

加納尚之，川上孝志，里友成，表則夫，桑田孝明，松岡良明，岸田悟

## 審議事項

### 第1号議案 2023年 度事業報告

第1号議案は，全員賛成で承認された。賛成（出席者14名うち議決権行使7名），反対（0名），保留（0名）。

### 第2号議案 2023年度 決算報告・監査報告

第1号議案は，全員賛成で承認された。賛成（出席者14名うち議決権行使7名），反対（0名），保留（0名）。

### 第3号議案 2024年度 事業計画

第3号議案は，全員賛成で承認された。賛成（出席者14名うち議決権行使7名），反対（0名），保留（0名）。

- 質問：湖鳥会の入会金について「徴収」との表現があるが，湖鳥会の入会は任意で相違ないか
  - 回答：相違ない。湖鳥会の入会は任意である。
- 質問：給付型学費援助奨学金の返済義務は無いか。
  - 回答：返済義務は無い。
- 質問：給付型学費援助奨学金が制度化されてからの実績は有るか。
  - 回答：およそ10年前に制度化からされてからの実績は無い。それ以前には有った。

#### 第4号議案 国際会議のための海外渡航費用助成制度内規変更

第4号議案は、賛成多数で承認された。賛成（出席者13名うち議決権行使6名）、反対（0名）、保留（議決権行使1名）。

- 質問：本制度の利用を促進するための告知方法として、どのような手段を考えているか。
  - 回答：月次の教員の会議にて湖鳥会理事会の報告を行い、その際に本制度の変更について説明する。また、学部4年生以上を対象として年に1～2回の頻度で電子メールにて案内することを考えている。
- 質問：援助金の予算額を超えた場合にはどのような対応をするか。
  - 回答：過去の発表状況より年間7件程度を想定しているが、年間7件を超えた場合にも助成する。ただし、年間10件を超えるような場合は都度判断する。

#### 第5号議案 役員体制について

第5号議案は、全員賛成で承認された。賛成（出席者14名うち議決権行使7名）、反対（0名）、保留（0名）。

#### 第6号議案 2024年度 予算（案）

- 第6号議案に係る追加議案として、令和7年4月に工学部I棟（旧知能情報工学科エリア）の大型建物改修で新設される「アクティブラーニングコモンズ」に関する寄付の願いを学科長より受領した旨の説明があった。
  - 質問：学内経費の採択額が決まる時期はいつ頃か。
    - 回答：6月中に採択可否の通知がある。しかし、昨年度の別件の事例においては、急を要さない事項については6月時点では一部保留となり、保留された部分については学内の予算状況を考慮しながら12月以降に通知されるなど、定まっていない。
  - 湖鳥会からは必要に応じて最大100万円（50万円を超える場合は運営委員会にて審議）の寄付を行うことが承認された。
  - 寄付の財源は2024年度・予算、支出の部費目の予備費とすることが承認された。
  - 寄付実施に際し、寄付金額内でのアクティブラーニングコモンズへの銘板の設置、湖鳥会 HP での研究紹介に協力を求めることが承認された。実施方法、予算は幹事と学科で要相談。

第6号議案は、全員賛成で承認された。賛成（出席者14名うち議決権行使7名）、反対（0名）、保留（0名）。